

# デジってみる？

## ～群馬のデジタルクリエイティブ人材育成～

県では、次世代で活躍するデジタルクリエイティブ分野の人材育成拠点として、TUMO Gunmaとtsukurunを展開しています。対象の子ども利用は完全無料です。

両施設がにぎわいを見せる一方、「デジタル」という響きに難しさを感じ、利用をためらう人も多いのではないのでしょうか。

そこで今回は、両施設を身近に感じてもらうため、現在利用している人に焦点を当てました。今まさに「デジってる」人の話を聞いてみましょう。



## TUMO Gunmaで人生が変わり始めた人の話

TUMOは、以下8分野のスキルが体系的に学べる施設です。



- ・12～18歳が対象で完全無料
- ・アルメニア発祥で、日本では群馬だけ
- ・教育界のノーベル賞といわれるWISE賞最優秀賞を受賞

他の子どもと比べたり点数をつけたりはせず、8分野全てを学ぶことも、学ぶ分野を途中で変更することも可能です。

今回は、平日週2日通っている、高校生と中学生、そしてその保護者、センターマネージャーにお話を聞きました。

飯塚 リリあさん(前橋市・高校2年生 以下リリあさん)  
番場 恵さん(渋川市・中学3年生 以下恵さん)

——まず、通い始めたきっかけは何ですか？

**リリあさん**：学校でTUMOの体験会のお知らせを見て「なんか面白そう」と思い、お父さんに相談して一緒に行くことにしました。

**恵さん**：普段の生活で少し気分が乗らない時があって、そんな時にお母さんに勧められ、気分転換に見学することになりました。



リリあさん(左)と恵さん(右)  
学校では、リリあさんは軽音楽部でバンドのボーカル<sup>アンド</sup>ギターを、恵さんは剣道部で部長として活動をしています  
お互いの印象を尋ねると、  
【リリあさん → 恵さん】絵が上手く器用で、センスがある  
【恵さん → リリあさん】「コミュカ」がすごい。一緒にいるとみんなが明るくなる

——「ハードルが高い」とは思いませんでしたか？

**リリあさん**：最初はスキルの名前など、少し難しそうに感じたのですが「取りあえず面白そうだしやってみるか」と思いました。

実際に通ってみると、スタッフの人たちがとても優しくサポートしてくれました。

**恵さん**：部活もあるし、家が遠いので通えるか不安でしたが、顧問の先生や部活のメンバー、送迎してくれるお母さんのおかげで通うことができています。

### 自分の将来が見えてくる

——日常や学校生活で役立ったことはありますか？

**リリあさん**：幅広い年代の人と交流でき、さまざまな大学や業界の話の聞くと、自分の進路を考えるとときにすごく参考になりますね。将来、自分は何がしたいか具体的に見えてきました。またネイティブのコーチがいるので、英語に積極的になりました。

**恵さん**：年齢に関係なく学校外の友達ができ、何でも相談できるのがうれしいです。自分の考え方も広がりました。こういう場所があるからこそ、学校に行くモチベーションにもなっています。

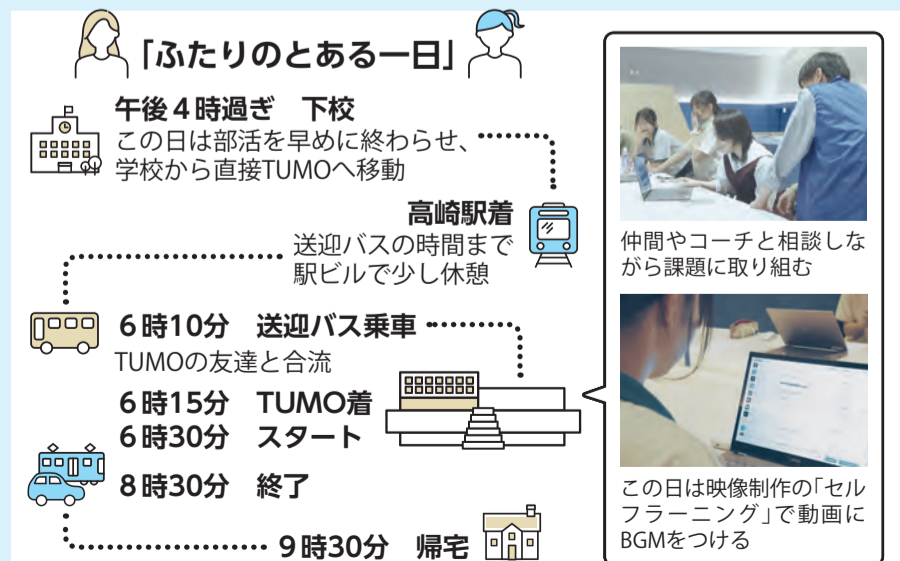
### 「タイムマシンは作れるよ」

——TUMOのスキルを生かしてやりたいことや将来の夢は何ですか？

**リリあさん**：軽音楽部のバンドのかっこいい映像を撮ってみたいです。TUMOでデジタルスキルをさらに学び、将来は音楽や映像関係の仕事がしたいです。

**恵さん**：小学生の時、先生に「タイムマシンは作れるよ」と言われてから、将来は宇宙関係の仕事がしたいと思っています。TUMOで取り組むプログラミングや3Dモデリングを、未知の星を立体でイメージしたりロケットを設計したりするのに役立てられたらいいなと思います。

TUMOの生徒たちの作品は公式instagramから



## 「高校生の娘と話す機会は貴重」

送迎は大変ではないかという質問に対し、飯塚さんは「TUMOでやっていることを娘から話してくれるのはうれしいし、貴重な時間です」とのこと。

番場さんも「楽しそうに話している娘を見ると、私も一緒に楽しませてもらっているような気分になります」と教えてくれました。

▼今回初めてTUMOの中を見学し、話が盛り上がる



いづか てるあき  
飯塚 輝明さん(りりあさんのお父さん)(左)  
ばん ば よしこ  
番場 美子さん(恵さんのお母さん)(右)

## 「ここに来たら人生が変わる」

TUMOの使命は、人生を変える学びの体験を提供することだと清水さんは熱く語ります。

ITの「スキルアップ」だけが目標ではありません。人生が変われば、もうとっくに「スキルアップ」しています。



TUMO Gunma センターマネージャー  
しみず よしゆき  
清水 義教さん

## 視野や世界が広がり、自分と向き合う

TUMOに通う子どもの変化について、番場さんは「TUMOには、幅広い年齢や経歴、分野ごとの講師がいて、学ぶ子どもたちの年齢もさまざま。いろいろな人と触れ合い、本人の視野や世界が広がって良かった」と語ります。

飯塚さんは「周りから言われてではなく、何をやりたいか、自分と向き合っているのがすごい。先の見通しが難しい時代ですが、自分がこれだと思っただけで人生を歩んでほしい」と話してくれました。

🌐 Gメッセ群馬4階  
高崎市岩押町12番24号  
(JR高崎駅東口から徒歩15分)

✉ info@tumo-gunma.jp

☎ 027-381-6757

📅 平日 15:00~20:30

📅 土・日曜日 10:00~18:30

📅 火曜日休館(そのほか、長期休館あり)

DATA



▲登録方法やアクセスなど詳細はこちら

## tsukurun で熱中を知った人の話



きしもと たいち すとう のぶあき  
岸本 大知さん(左)、須藤 暢昭さん(右)  
(いずれも前橋市・小学6年生)

tsukurunは、最先端のデジタル技術や機材に触れながら「自分がつくりたいモノを自分でつくる」場所です。まずは使ってみて、遊んでいたらできるようになっていた！という場所を目指しています。アニメーション、イラスト、ゲームプログラミングなどのデジタル技術が体験できます。

### tsukurunクリエイティブ推進委員としても…

大知さんと暢昭さんは「ワークショップ」や課題をクリアして「レベルアップ」を目指す「クリエイティブクエスト」に参加する傍ら、tsukurunクリエイティブ推進委員としても活動しています。委員会は小学生から高校生までの10人程度で構成され、tsukurunをより良い空間にするため、子どもたち自身でイベントなどを企画しています。

幅広い年齢の仲間やスタッフと意見を交わしながら、イベントなどの運営にも携わることは貴重な経験となっています。

- ・県内在住または在学の小学1年生~高校3年生が対象
- ・完全無料
- ・前橋のほか、桐生・高崎に加え、県立高校3校(高女・伊高・吾妻中央)にも設置

## 子どもの熱中できるものが見つかった

tsukurunに通い出した子どもの変化をお母さんたちに尋ねると「家では教えるのが難しいことを無料で、しかもプロの機材を使って学べるなんて本当にありがたいです。さまざまな業界で活躍する人の話を聞くのは、とても良い刺激になっていると思います(岸本さん)。「自分からやりたい、頑張りたいと熱中できるものを見つけられたのは本当に良かったです(須藤さん)」と話してくれました。

きしもと ちづる すとう みか  
岸本 千鶴さん(大知さんのお母さん)(左)、須藤 美佳さん(暢昭さんのお母さん)(右)



▲ママ友同士、子どもたちの送迎を助け合っているそう



たきざわ なおき  
tsukurunマネージャー 滝澤 尚貴さん

## 小学1年生でもペンタブレットで直感的にイラストが描けます

イベントをほぼ毎日開催しており、興味のある「ワークショップ」への参加や、部活帰りの利用など、さまざまな子どもたちが来館しています。初めて利用する子どもは、最初こそ緊張していますが、作品づくりを通してスタッフや他の子どもたちと自然に打ち解け、交流が生まれています。第2・4日曜日には体験会を開催していますので、ぜひ「つくる楽しさ」を体感してください。

## トライアル tsukurun trial始まる

小・中学生や高校生を対象に、デジタルクリエイティブ講座「tsukurun trial」を太田市・沼田市・富岡市で開催します。tsukurunのプログラムを体験できる全10回(6月下旬から順次開催)の講座です。スタッフが丁寧に指導するため、初心者でも安心して参加できます。また経験者には、更なるスキル向上に役立つ内容となっています。

県では、今後も子どもたちがデジタルクリエイティブ分野に触れる機会を増やし、一歩踏み出す後押しをしていきます。

さあ、あなたも「デジってみる?」

### 夏休み開館情報

期間 7月18日(土)~8月31日(月)  
休館日 火曜日、8月11日(火)~15日(土)  
※平日は13:00~18:00(土・日曜日、祝日は変更なし)

🌐 アクエル前橋2階  
前橋市表町2丁目30番8号  
(JR前橋駅北口から徒歩1分)

✉ info@gunma-tsukurun.jp

☎ 027-225-2215

📅 平日 15:00~20:00

📅 土・日曜日、祝日 10:00~18:00

📅 火曜日休館(そのほか、長期休館あり)

DATA



▲登録方法やアクセスなど詳細はこちら